

- (1) 西日本石炭じん肺
定期総会
- (2) ●築炉じん肺結審
●熊本弁講座
- (3) ●トンネルじん肺
●熊本弁講座
- (4) 梨の花

SOLIDARITÉ 「連帯」
ソリダリテ

建交劳大牟田支部通信

(No. 37)



西日本石炭じん肺大牟田請求団第15回定期総会

今年で15回を迎える「西日本石炭じん肺大牟田請求団総会」。

熊本県山鹿市で4月7日（日）に開催されました。

今回は、4名の弁護士が参加され、三池じん肺から始まるじん肺・アス

ベスト闘争について各弁護士から報告がされました。

新しい罹患者は減ったものの未だ止まない石炭じん肺、私達大牟田支部が先頭に立って闘っている築炉じん肺、全国で繰り広げられている建設アスベスト訴訟。九州建設アスベスト訴訟1陣2陣



宴となると流石の杉本団長



で原告のお二人からも激励と共に闘う決意が語られました。

大牟田支部の労職分会の現状は石炭じん肺だけではなく、アスベスト、築炉、溶接などのじん肺罹患者を組織しています。

石炭じん肺の掘り起こしと闘いがあったからこそ、他の職種、他のじん肺罹患者を組織し運動を展開できているのではないでしょうか。

未だ止むことのない労災職業病。これまでも、これから「あやまれ・つぐなえ・なくせじん肺」が私たちの闘いの絆を守ってくれているのだとつくづく感じさせられました。

じかたび

じかたび

建交労の前身、全
日自労が残してくれ
た曲「わしらの宝」
これこそ大衆・労働
運動の原点ではない
でしょうか・・・仲
間意識なくして何と闘う
のでしょうか・・・平川
のでしようか・・・
執行委員長が先頭に立っ
て総会で教えてくれまし
た。

「わしらの宝」

2. まけるものと腕くみあつて
子どものために たたかつて
きた
この力が この組合が
かけがえのない わしらの宝
3. セリフ・・・
4. 失業 貧乏 戦争なくせ
うたいつづける 世直し温度
この姿が この歴史が
かけがえのない わしらの宝
5. 老いも若きもスクラム組んで
明るい大きなあしたをめざす
このねがいが この団結が
かけがえのない わしらの宝



築炉じん肺第2陣訴訟

悪しき「大和工業」許すまじ！

最終意見陳述・結審

4月9日（火）

福岡地裁において、築炉じん肺第2陣訴訟の最終意見陳述として結審となった。

この日の傍聴には、関係労組・医療機関・民主団体が駆け付け50名に近い傍聴となりました。

法廷では、裁判長より原告・被告双方からの準備書面等の確認がなされ、原告弁護士からの伊黒弁護士から最終の意見陳述が行われた。

陳述内容は、①雇い主の社会的責任、②築炉工の作業全般が「けい肺及び外傷性せき髄障害」に関する特別保護法」に適用されていて、事業主が築炉工などを粉じんばく露させないよう万全を期し

なければならぬ事。③悪さ加減を認めない大和工業が主張してきた現場での粉じんについて、換気対策を行ってきたと主張するが、換気対策の下での粉じん量（測定）を立証していない事。④大和工業が準備した証人が発した証言で防塵マスクを外す事があったという証言があつたにも関わらず、大和工業が自身の悪さ加減を一切認めず「あくまでも争う」という社会的道義に反している事を主張し、最後に裁判長に対し「大和工業の社会的責任を厳しく問う事を求める」事で最終の意見陳述が終わりました。

裁判長から、判決は7月18日（木）13時10分から今回と同じ902号法廷で判決を言い渡すとされました。



援団体から共に闘う決意が寄せられ、次回の判決では、一切加害責任を認めない大和工業に対してもう一回り二回り大きな支援者を募り、悪しき大和工業を完全包囲せねばならない事と、悪しき大和工業に対し、全国の仲間との力で抗議文のFAXや本社前抗議行動を行う事も進行形で検討していきます。（津波古）

熊本弁講座

4月14日（日）を迎えた朝、新聞やテレビニュースでは3年前の熊本大震災を、人助けにと被災者に水を届けた若者が阿蘇大橋の陥落の犠牲になった事を思い出させます。しかし、こんな時だからこそ「がまださなっ！」

●ホンナこてアクシャウツこつバツカシたい（本当に嫌になる事ばかりだ）

●アツチャン（あちらへ）
●コツチャン（こちらへ）
●ソツチャン（そちらへ）

（熊本県FBページ抜粋）



トンネルじん肺第6陣東京地裁

あやまれ・つぐなえ・なくせじん肺

トンネルじん肺救済基金制度を創設せよ！

4月15日（月）衆院第2会館に労働とトンネルじん肺罹患者の仲間が集いました。

同日、トンネルじん肺訴訟第6陣仙台地裁、三井金属神岡鉱山じん肺訴訟もあり、トンネ

ルじん肺救済基金創設の為の国会議員賛同署名行動への参加者はいつもとより大分少なかった。今回担当した議員は34名で主に福岡・佐賀・九州選出の与野党国会議員の元へ訪問しました。

日本共産党の田村貴昭衆議院議員や仁比聡平衆議院議員は、第2関門橋建設（無駄な公共事業）の件で、超党派で現地に

事を受注した元請ゼネコが過去の工事額に応じてじん肺罹患者救済基金の支出割合を決めるじん肺基金制度の創設で、裁判に依らない迅速な保証金の支払いをする事を法

た。今回、新たにトンネル工夫の職歴管理システムと工

翌16日（火）東京地裁でトンネルじん肺第6陣第1回期日に参加し、新たな闘いに踏み出した。本法廷では、東京第6陣の原告団長が被災者を代表して意見陳述を行いました。昭和43年

制度として国会議員に制定を求める署名活動に取り組みました。



した。昭和43年にトンネル工夫になり、切羽での作業実態を切々と唱えられました。三池炭鉱の切羽の話しを組合員に聞き頭に描いた坑内環境を想い浮かばせました。しかも防塵マスクが支給され始めたのが昭和50年代中ごろからと非常に遅いゼネコンの対応が明らかに成りました。原告団長自身、平成28年にじん肺管理区分2と続発性

気管支炎の合併症に罹り苦しい日々を過ごされている事と、かつての同じ現場の仲間が今回の6陣に提訴している事も発せられ、裁判所に対し、「平成」が終わる今でもトンネル工事の被害者が数多く出ていて、命ある内の早期解決を強く求められた。

次回期日の6月11日（火）には原告らの職歴確定がほぼ固まると思われるのと同時に、法廷では準備書面と併せてトンネル工法の説明やトンネルじん肺の被害の状況を映像で示し、被告ゼネコの安全配慮義務違反を証明する事も唱えられた。（津波古）

本法廷では、小野寺弁護団長も意見陳述され、これまでのトンネルじん肺根絶闘争の歴史が語られ、原告であるじん肺罹患者が「裁判」と言う重い負担から解放される為に、「トンネルじん肺救済基金制度の創設と救済法の制定の為に活動してきたこと。そして、これまでの制度の確立と救済法の制定で裁判に依らない、命あるうちの早期解決を強く求められた。最後に、水口弁護士が陳述を行い、第6陣の早期解決のために2回目期日以降5回目期日までの日程を裁判官に提案され、日程について裁判所も認め早期解決の道筋が決められた。



梨の花

桜の花が満開を過ぎた頃、荒尾では梨の花が満開の時期になります。

荒尾梨は「荒尾ジャンボ梨」で有名な赤ちゃんの頭くらいの梨が出来ます。

普通、どこの地区も梨の木は一本の木に実を付けますが、荒尾梨は写真のように藤棚のように枝を這わせて一斉に実を付させるのです。

全国でも珍しい光景です。しかも全体に日が当たるように斜めに枝を這わせるのです。

花が満開したら、近所のおばちゃんたちが数十人で特殊な筆で、一個一個受粉させていきます。その間ずっと頭を上にして丁寧につけていきます。「頭がなるね、今日は湿布を貼つとかんとかわるばい」と笑いながら手を休

めず頑張っています。お昼になると梨の木の下で輪になりながら笑い声高らかに昼食をとっています。荒尾ではこういう風景があちこちに見

られます。年に一回の荒尾ならではの風景です。今年も、大きい台風が来ないことを願いながら私達も楽しみにしています。
(猿渡)



<行事予定>

- 5月 1日(水) 第90回大牟田地区統一メーデー・公共一般分会定例会
 6日(月) じん肺キャラバン実行委員会(福岡第一法律事務所)
 " 9条の会憲法記念講演「アーサー・ビナード氏」
 10日(金) 労職分会定例会
 " 西日本石炭じん肺弁護団会議
 14日(火) 全国労職部会 新人研修会(東京)
 19日(日) 民間分会定例会
 20日(月) 三川坑炭塵爆発学習会(薛邑会)
 25日(土) 労災職業病無料相談会(みやま市)
 27日(月) 九州建設アスベスト第1陣・福岡高裁結審

- 6月 1日(土) 全国青年部交流集会
 3日(月) 公共一般分会定例会
 5日(水) 市民講座「有期雇用から無期雇用転換ルール」
 7日(金) 労職分会定例会
 14日(金) 建交労学校・伊豆
 16日(日) 民間分会定例会
 19日(水) 支部執行委員会
 20日(木) 県本部執行委員会
 25日(火) 築炉じん肺弁護団会議

健康相談会 (3月末時点)

- | | |
|-------------|----|
| ・石綿健康管理手帳取得 | 4名 |
| ・じん肺管理区分4 | 1名 |
| ・じん肺管理区分3イ | 1名 |
| ・じん肺管理区分2 | 2名 |
| ・じん肺合併症決定 | 1名 |
| ・じん肺合併症申請中 | 1名 |
| ・管理区分申請予定 | 1名 |